

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道373号 <small>しとさかとうげ</small> 志戸坂峠道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局																					
起終点	自：岡山県英田郡西粟倉村影石 <small>あいだ にしあわくらそんかげいし</small> 至：鳥取県八頭郡智頭町市ノ瀬 <small>やす ちづちよういちのせ</small>	延長	18.4km																							
事業概要																										
<p>一般国道373号は、兵庫県赤穂市から鳥取県鳥取市に至る延長約80kmの主要幹線道路である。</p> <p>志戸坂峠道路は、岡山県・鳥取県境部の一般国道373号の隘路区間の解消、冬期交通の安全確保を目的とした延長18.4kmの道路である。</p>																										
S52年度事業化		S52年度用地着手		S52年度工事着手																						
全体事業費	約910億円	事業進捗率 (H21年度末現在)	98%	供用済延長	17.9km																					
計画交通量	10,700 ~ 10,800 台/日																									
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (3便益)</td> <td style="width: 50%;">0.5</td> </tr> <tr> <td>(事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>5.3</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 50%;">12 / 1,398 億円</td> </tr> <tr> <td>(事業費)</td> <td>9.6 / 1,328 億円</td> </tr> <tr> <td>(維持管理費)</td> <td>2.6 / 70 億円</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (3便益)</td> <td style="width: 50%;">0.5</td> </tr> <tr> <td>(事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>5.3</td> </tr> </table>	B/C (3便益)	0.5	(事業全体)		(残事業)	5.3	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 50%;">12 / 1,398 億円</td> </tr> <tr> <td>(事業費)</td> <td>9.6 / 1,328 億円</td> </tr> <tr> <td>(維持管理費)</td> <td>2.6 / 70 億円</td> </tr> </table>	総費用 (残事業/事業全体)	12 / 1,398 億円	(事業費)	9.6 / 1,328 億円	(維持管理費)	2.6 / 70 億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 50%;">65 / 690 億円</td> </tr> <tr> <td>(走行時間短縮便益)</td> <td>51 / 541 億円</td> </tr> <tr> <td>(走行費用減少便益)</td> <td>11 / 81 億円</td> </tr> <tr> <td>(交通事故減少便益)</td> <td>3.6 / 69 億円</td> </tr> </table>	総便益 (残事業/事業全体)	65 / 690 億円	(走行時間短縮便益)	51 / 541 億円	(走行費用減少便益)	11 / 81 億円	(交通事故減少便益)	3.6 / 69 億円	基準年	平成22年
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (3便益)</td> <td style="width: 50%;">0.5</td> </tr> <tr> <td>(事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>5.3</td> </tr> </table>	B/C (3便益)	0.5	(事業全体)		(残事業)	5.3	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 50%;">12 / 1,398 億円</td> </tr> <tr> <td>(事業費)</td> <td>9.6 / 1,328 億円</td> </tr> <tr> <td>(維持管理費)</td> <td>2.6 / 70 億円</td> </tr> </table>	総費用 (残事業/事業全体)	12 / 1,398 億円	(事業費)	9.6 / 1,328 億円	(維持管理費)	2.6 / 70 億円													
B/C (3便益)	0.5																									
(事業全体)																										
(残事業)	5.3																									
総費用 (残事業/事業全体)	12 / 1,398 億円																									
(事業費)	9.6 / 1,328 億円																									
(維持管理費)	2.6 / 70 億円																									
総便益 (残事業/事業全体)	65 / 690 億円																									
(走行時間短縮便益)	51 / 541 億円																									
(走行費用減少便益)	11 / 81 億円																									
(交通事故減少便益)	3.6 / 69 億円																									
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施																										
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">交通量変動 : B/C = 6.1 (交通量+10%)</td> <td style="width: 50%;">B/C = 4.6 (交通量-10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費変動 : B/C = 4.9 (事業費+10%)</td> <td>B/C = 5.8 (事業費-10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間変動 : B/C = 5.2 (事業期間+20%)</td> <td>B/C = 5.5 (事業期間-20%)</td> </tr> </table>						交通量変動 : B/C = 6.1 (交通量+10%)	B/C = 4.6 (交通量-10%)	事業費変動 : B/C = 4.9 (事業費+10%)	B/C = 5.8 (事業費-10%)	事業期間変動 : B/C = 5.2 (事業期間+20%)	B/C = 5.5 (事業期間-20%)															
交通量変動 : B/C = 6.1 (交通量+10%)	B/C = 4.6 (交通量-10%)																									
事業費変動 : B/C = 4.9 (事業費+10%)	B/C = 5.8 (事業費-10%)																									
事業期間変動 : B/C = 5.2 (事業期間+20%)	B/C = 5.5 (事業期間-20%)																									
事業の効果等																										
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 損失時間の削減が見込まれる (25,933千人・時間/年⇒25,279千人・時間/年 約3%削減) ・ 宝塚～鳥取、京都～鳥取、大阪～鳥取の都市間高速バスの利便性向上が見込まれる <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農林水産品を主体とする地域：鳥取県智頭町 (スギ) <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成 (津山市～鳥取市、姫路市～鳥取市) ・ 隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成 (津山市～鳥取市) ・ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する (智頭町大内地区) <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な観光地へのアクセス向上 (八頭地域の入り込み客数 (H21) : 23万人/年) <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次緊急輸送道路である一般国道373号の代替路線として機能 ・ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消 ・ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消 <p>⑥地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CO2排出削減量が約2千t/年 (約0.1%) 削減 (4,489千t/年⇒4,487千t/年) <p>⑦生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NOx排出削減量が約16t/年 (約0.1%) 削減 (23,181t/年⇒23,165t/年) ・ SPM排出削減量が約4t/年 (約0.2%) 削減 (1,846t/年⇒1,842t/年) <p>⑧環境への影響を考慮した結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 約2千t/年のCO2削減【1億円※】 																										
※試算値 (供用後50年間の便益額として試算した値)																										

関係する地方公共団体等の意見

志戸坂峠道路は現道の隘路区間の解消、冬期交通の安全確保等に重要な役割を果たすことが期待されており、鳥取市をはじめとする関係2市9町2村の首長等で構成される国道373号改修促進既成同盟会より早期整備の要望を受けている。

鳥取県知事の意見：

一般国道373号志戸坂峠道路の事業再評価に係る対応方針（原案）案については異存ありません。
一般国道373号志戸坂峠道路は、鳥取自動車道の一部を形成し、当県の自立的発展や地域間の広域連携に必要な不可欠な社会インフラです。鳥取自動車道の当県側はすでに開通しており、鳥取自動車道が高速道路ネットワークとしてその機能を発揮するためには、本事業の一刻も早い完成が必要です。公表されている平成24年度の確実な供用に向け、なお一層の御尽力をお願いします。

岡山県知事の意見：

一般国道373号志戸坂峠道路について、継続するとの対応方針（原案）案については異存ありません。
志戸坂峠道路は、高速道路のミッシングリンクを解消し、広域経済圏の形成や地域の自立的発展を図るため、本県にとって極めて重要な道路であることから、事業継続は妥当である。また、公表された供用予定時期である平成24年度に遅れることなく、整備促進をお願いしたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

一般国道373号では、災害・事故による通行止めが発生している。また、本路線と一体的整備が行われている中国横断道姫路鳥取線の整備を見越して、沿線地域では工業団地の開発・分譲が進んでいる。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末で用地買収は95%が完了しており、現在までに西粟倉IC～智頭ICまでの17.9kmが2車線で供用済み。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため暫定2車線で整備しており、残るIC接続部0.5kmが平成24年度末に供用予定。

施設の構造や工法の変更等

擁壁や仮設防護柵に新技術を採用する等によるコスト縮減を図っている。

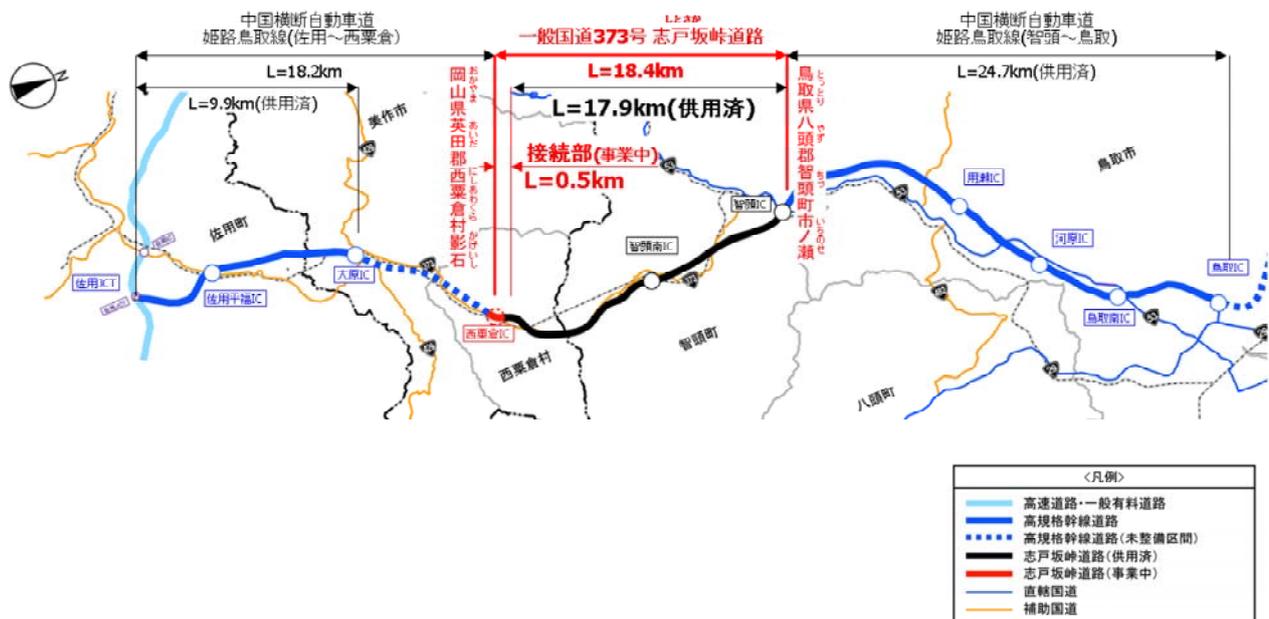
【約0.4億円の減少】

対応方針（原案） 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

しとさかとうげ
一般国道373号 志戸坂峠道路

事業再評価

平成23年3月

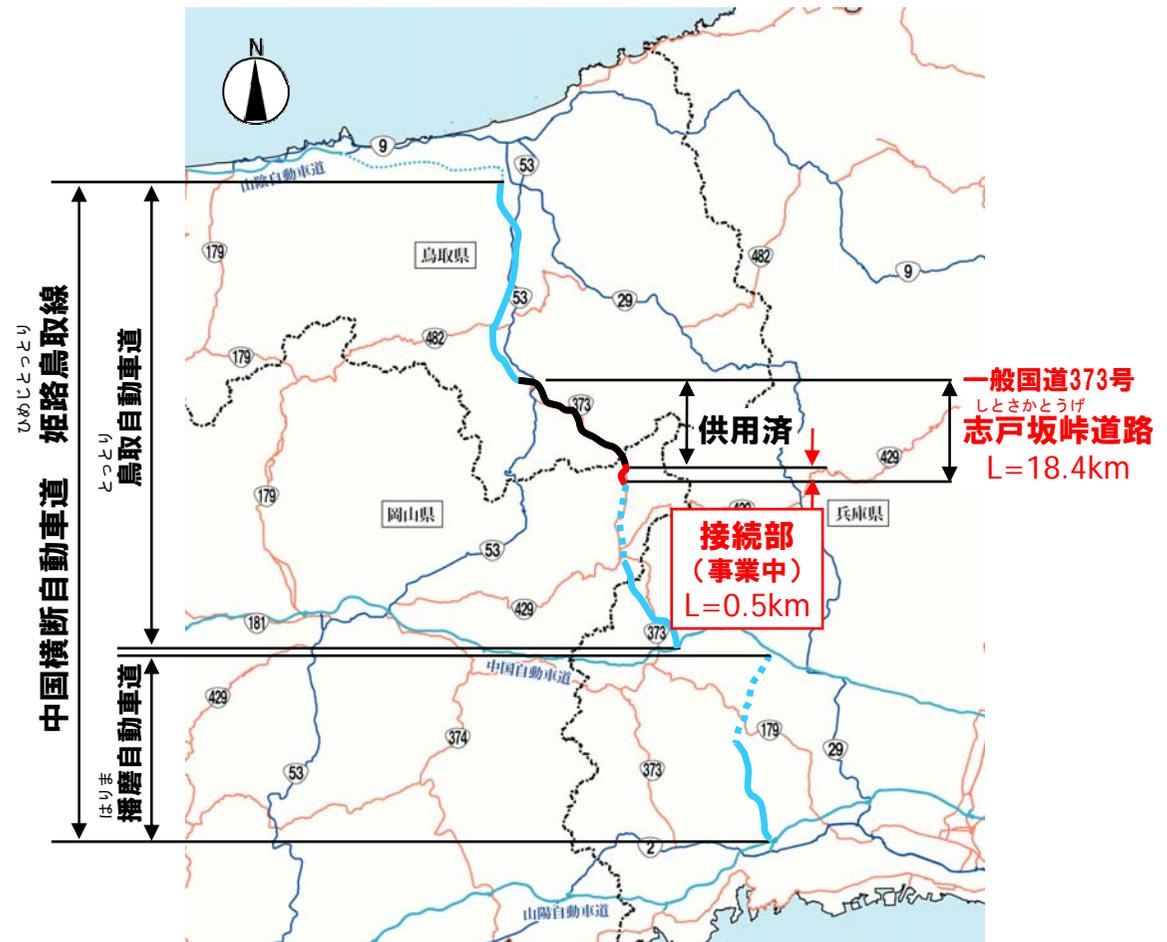
国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

- 一般国道373号志戸坂峠道路は岡山県英田郡西粟倉村～鳥取県八頭郡智頭町までの延長約18kmの道路である。
- 志戸坂峠道路は、中国横断自動車道姫路鳥取線の一部を構成し、山陰と近畿を結ぶ南北軸を形成する道路である。



凡例	
	高速道路・一般有料道路
	直轄国道
	補助国道



2. 事業概要及び経緯

一般国道373号 志戸坂峠道路

(1) 事業概要

- 志戸坂峠道路は、中国縦貫自動車道と接続することにより、中国地方の広域的な交通ネットワークを形成し、瀬戸内海側地域と日本海側地域を結ぶ幹線道路として、輸送時間の短縮、一般道の交通混雑の緩和を図り、沿線地域の産業・経済・文化の発展に重要な役割を果たすものである。

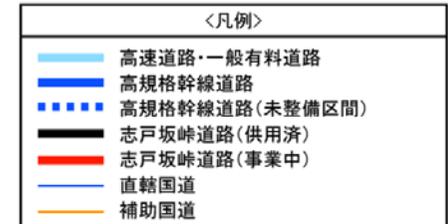
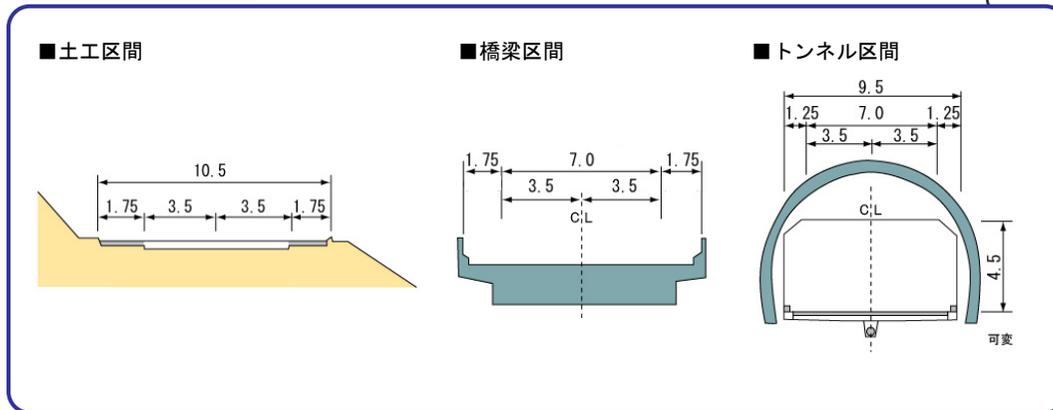
事業概要

	一般国道373号 志戸坂峠道路
起 終 点	起点：岡山県英田郡西粟倉村影石 終点：鳥取県八頭郡智頭町市ノ瀬
計 画 延 長	L=18.4km
道 路 規 格	第1種第3級 (志戸坂トンネル部：第3種第2級)
設 計 速 度	80km/h (志戸坂トンネル部：60km/h)
車 線 数	西粟倉IC～智頭南IC：2車線 智頭南IC～智頭IC：暫定2車線

計画概要図



標準断面図



2. 事業概要及び経緯

(2) 事業の経緯

- ・ 姫路鳥取線の智頭IC～河原IC間は平成20年度末、河原IC～鳥取IC間、佐用JCT～大原IC間は平成21年度末に供用し、全長86kmのうち、約8割の65kmが供用済みである。
- ・ 志戸坂峠道路は昭和52年より事業に着手し、西粟倉IC接続部0.5kmを除き、平成20年3月に2車線で全線供用済みである。



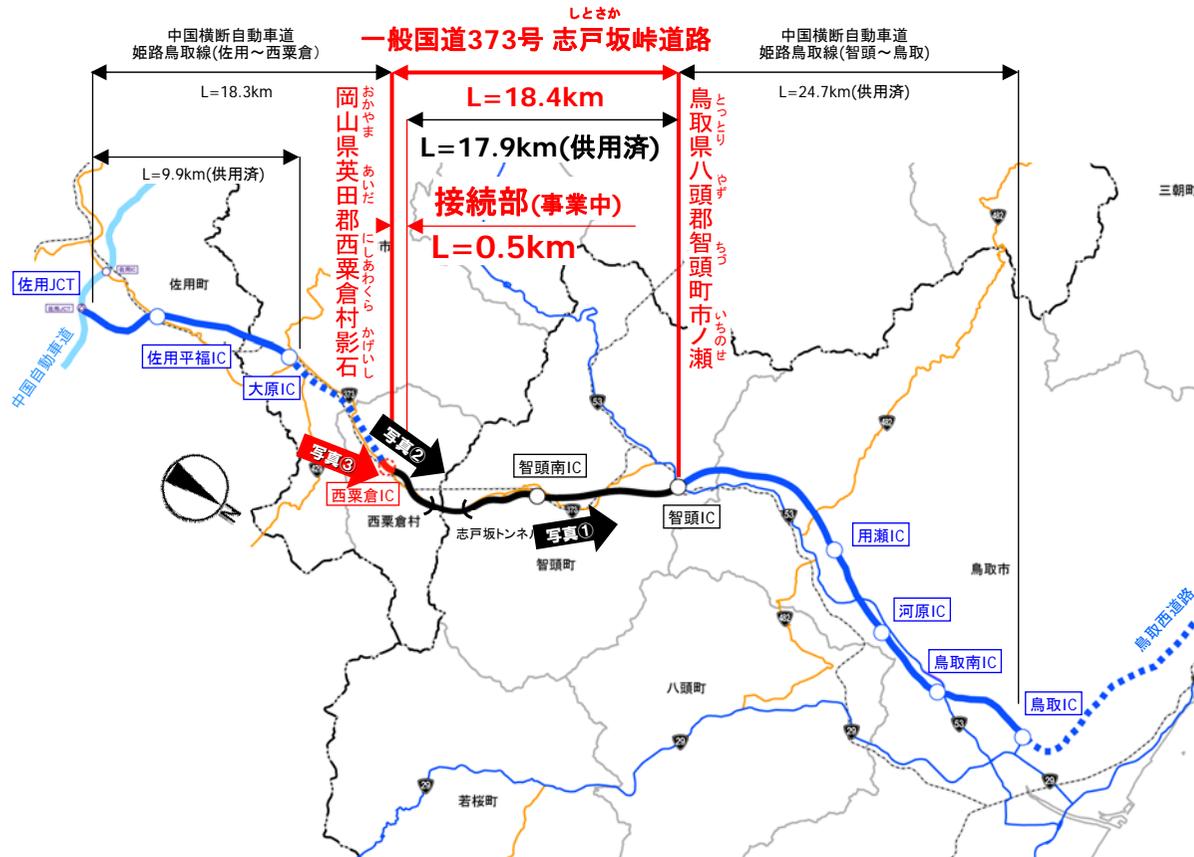
年度	区間	【参考】姫路鳥取線(佐用～西粟倉)		志戸坂峠道路		【参考】姫路鳥取線(智頭～鳥取)	
	県名	兵庫県		岡山県		鳥取県	
事業者		阪神国道事務所		岡山国道事務所		鳥取河川国道事務所	
平成14年度以前		平成3年度 整備計画 平成5年度 施行命令 平成8年度 用地買収・工事着手(佐用～大原)		昭和52年度 事業着手 昭和52年度 用地買収・工事着手 昭和56年度 志戸坂トンネル部供用(L=2.5km)	平成6年度 西粟倉村影石～坂根間供用(L=3.2km)	平成9年度 智頭町駒帰～智頭町尾見間供用(L=3.9km)	平成8年度 都市計画決定 平成8年度 整備計画 平成9年度 施行命令 平成11年度 用地買収着手 平成13年度 工事着手
平成14年度		新直轄方式へ移行					
平成19年度			工事着手(大原～西粟倉)			智頭南～智頭暫定供用(L=8.3km)	
平成20年度			用地買収着手(接続部)				
平成21年度		中国地方整備局事業評価監視委員会にて、再評価を実施					
		佐用JCT～大原IC間供用	工事着手(接続部)				智頭IC～河原IC間供用 河原IC～鳥取IC間供用

2. 事業概要及び経緯

一般国道373号 志戸坂峠道路

(3) 事業進捗状況

- ・平成21年度末時点で98%完了し、現在、姫路鳥取線との接続部の工事を実施している。
- ・平成24年度に志戸坂峠道路の西粟倉IC部および姫路鳥取線(大原IC～西粟倉IC間)が供用予定である。



〈凡例〉

	高速道路・一般有料道路
	高規格幹線道路
	高規格幹線道路(未整備区間)
	志戸坂峠道路(供用済)
	志戸坂峠道路(事業中)
	直轄国道
	補助国道

事業全体の進捗状況(平成21年度末時点)

用地	95%
工事	98%
全体	98%

※暫定2車線の事業費に対する割合



【写真①】智頭町毛谷から鳥取方面(供用済区間)



【写真②】西粟倉村影石から鳥取方面(供用済区間)



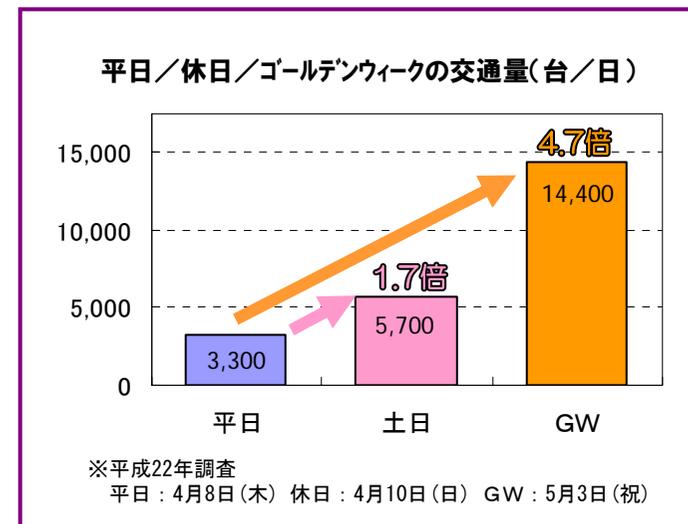
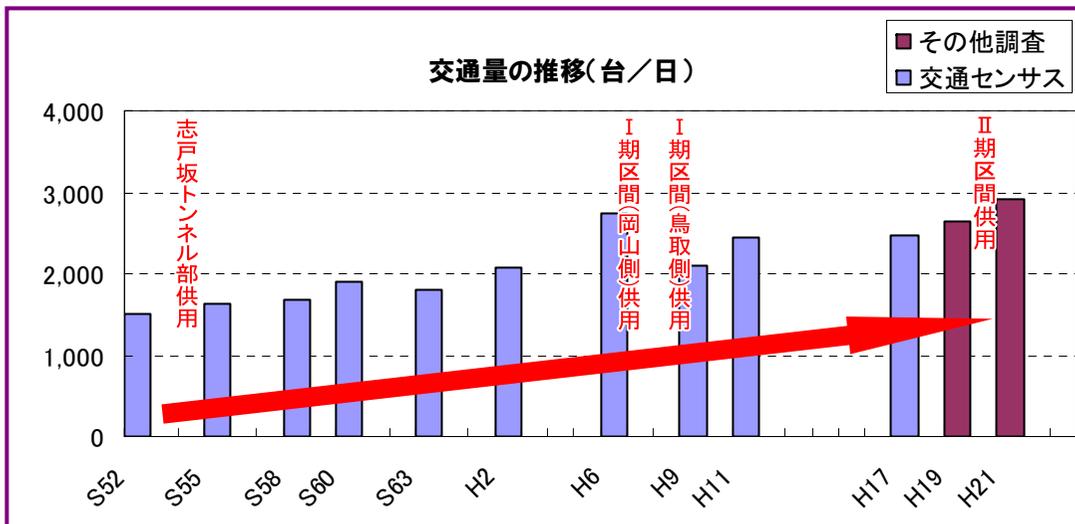
【写真③】姫路鳥取線接続部の工事状況(事業中区間)

2. 事業概要及び経緯

(4) 現在の交通状況

- ・ 昭和56年から段階的に供用を開始し、交通量は増加傾向にある。
- ・ 平日に比べ休日の交通量が多く(約2倍)、ゴールデンウィークにはさらに交通量が増加している(約5倍)

◆交通量の変化



1) 将来交通需要推計手法の改善等を踏まえた総点検結果

○ 将来交通需要推計手法の主な変更点

① 生成交通量推計手法の改善

推計モデル及び将来フレーム設定を統一

② 需要推計に係る条件設定の変更

ネットワークの設定については、現況に加え、事業化済みの箇所を考慮

	前回評価時 (平成22年度)	今回評価時 (平成22年度)
計画交通量	11,800台/日～12,100台/日	10,700台/日～10,800台/日
費用対効果B/C (全体事業)	1.1	0.5
費用対効果B/C (残事業)	10.9	5.3

2) 今回の検討方針

道路の役割

- ・ 従来の3便益以外に、地域から期待される道路の役割についても整理。

費用

- ・ 新工法の導入によるコスト縮減

4. コスト縮減の検討

・擁壁や仮設防護柵に新技術を採用する等、コスト縮減を図る。

◆コスト縮減の取り組み

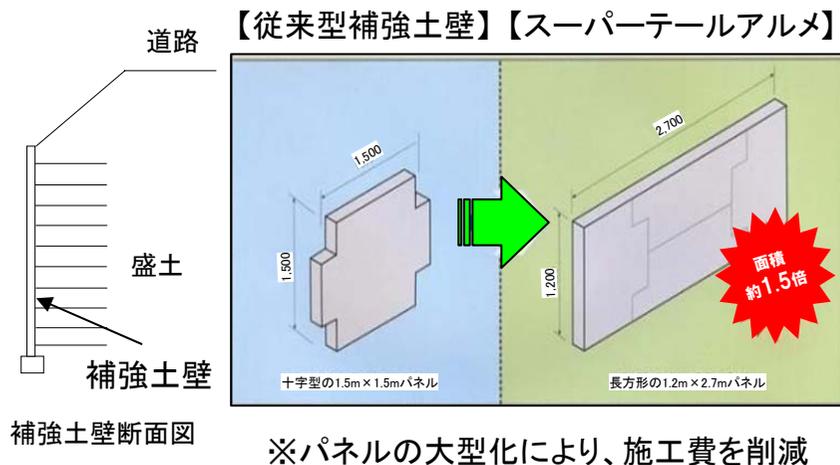
自動車交通の安全性を考慮し、関係機関と調整を図りながら以下の見直しを行いコストを縮減。

【コスト縮減の取り組み】

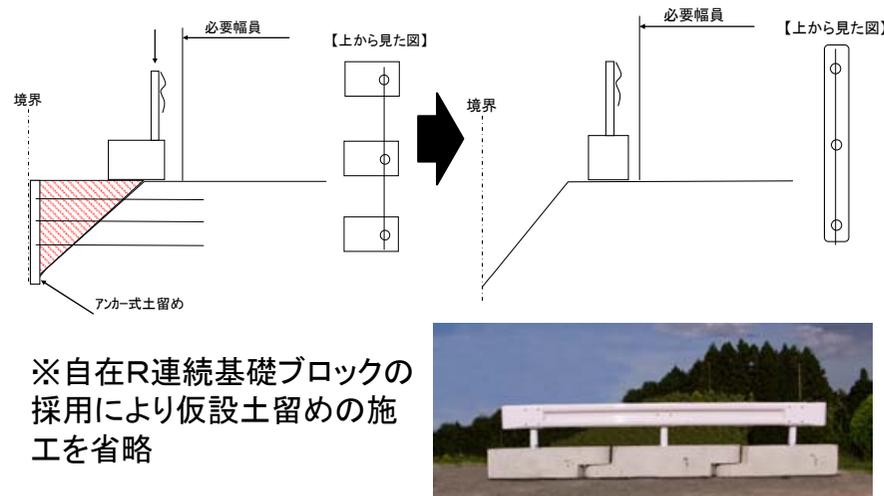
○新技術の採用

- ・擁壁形式の変更
- ・仮設防護柵の変更→仮設土留を省略
- ・縮減額 約40百万円

■擁壁形式の変更 縮減額:約30百万円

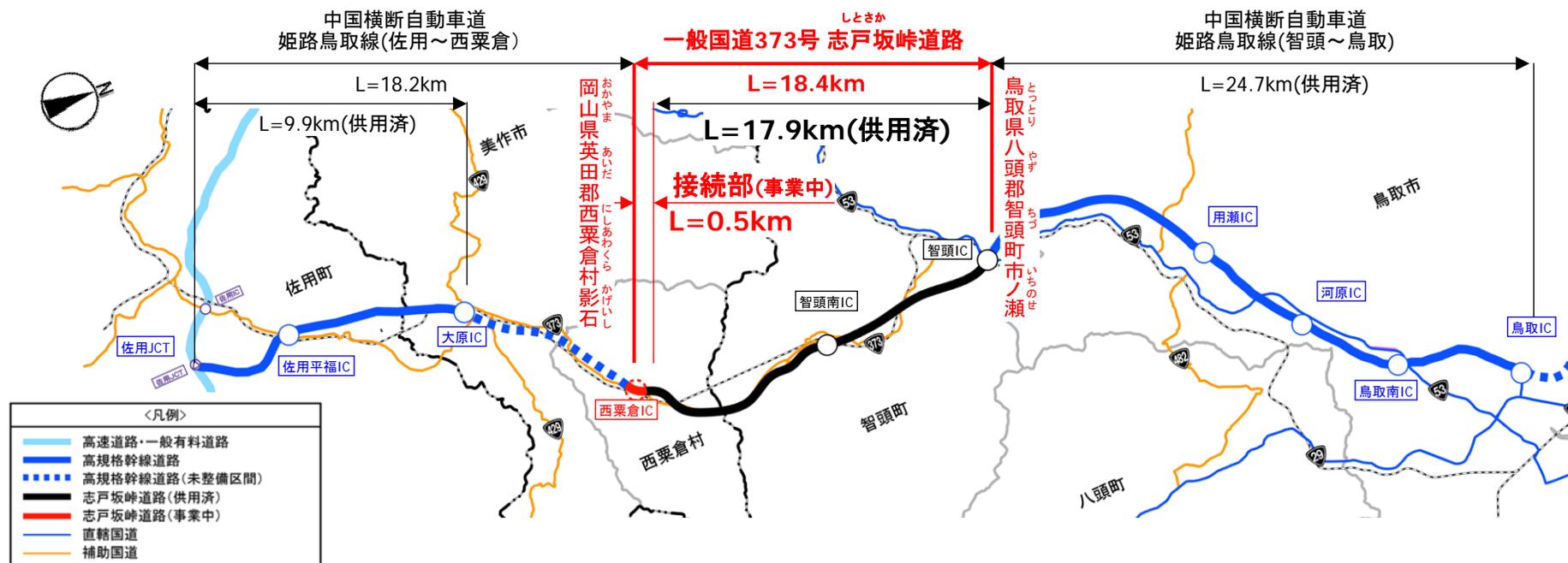


■仮設防護柵の変更 縮減額:約10百万円



5. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道373号 志戸坂峠道路



課題①: 国道373号(現道)の道路構造

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒道路構造不良区間の回避による快適で安全な走行確保

課題②: 物流ネットワークの形成

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒走行時間短縮による物流効率化の支援

課題③: 観光振興

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒観光地へのアクセス向上による観光振興

課題④: 災害時における通行規制等

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒道路網の信頼性向上

課題⑤: 沿道環境の改善

〈期待される道路の役割(効果)〉⇒走行速度向上による環境負荷の低減

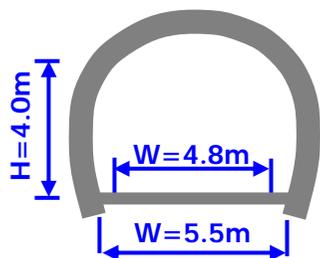
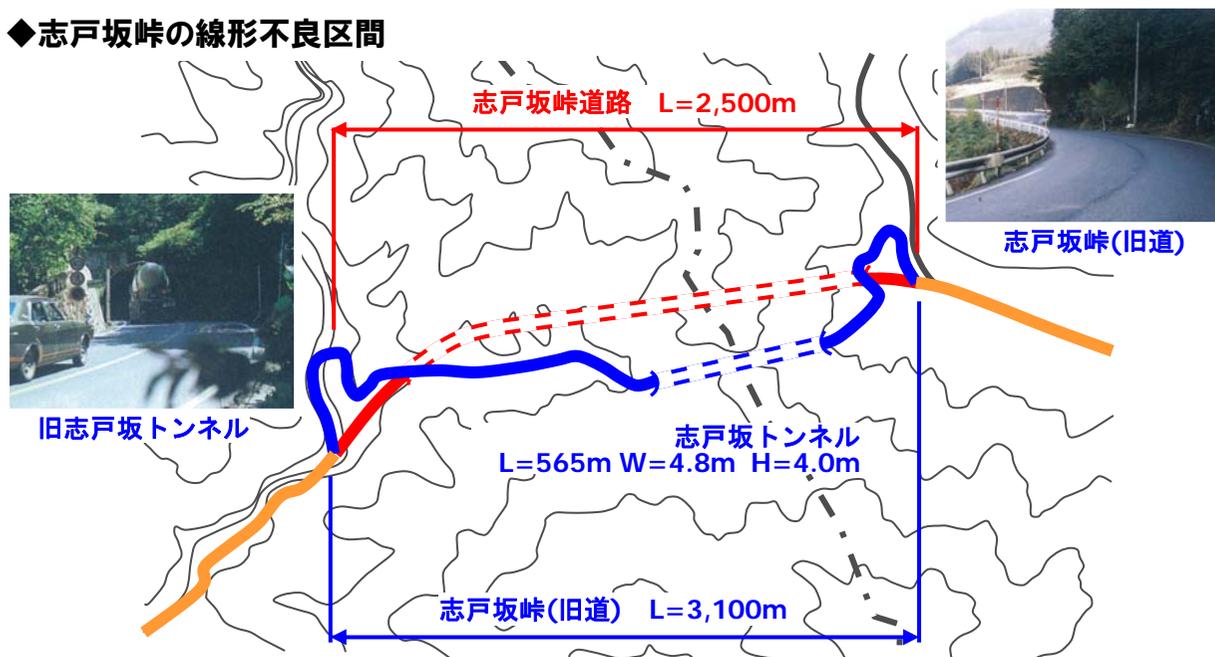
5. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道373号 志戸坂峠道路

課題① 国道373号(現道)の道路構造

- ・国道373号(現道)は、急カーブ・急勾配のうえ幅員も狭く、また積雪も多いことから交通のネックとなっていた。
- ・昭和56年12月の志戸坂峠道路(志戸坂トンネル区間)供用により、快適で安全な走行が確保されている。

◆志戸坂峠の線形不良区間



新トンネル開通 → 廃坑

- ・断面不足(幅員、高さ)
- ・老朽化(竣工:昭和6年)

<参考> 志戸坂隧道(旧トンネル)諸元

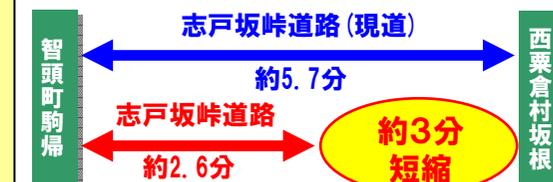
延長	565m
有効幅員	5.5m
車道幅員	4.8m
高さ制限	4.0m
竣工	昭和9年8月



現在の旧志戸坂トンネル(岡山県側)

期待される道路の役割(効果)

志戸坂トンネル開通による所要時間短縮



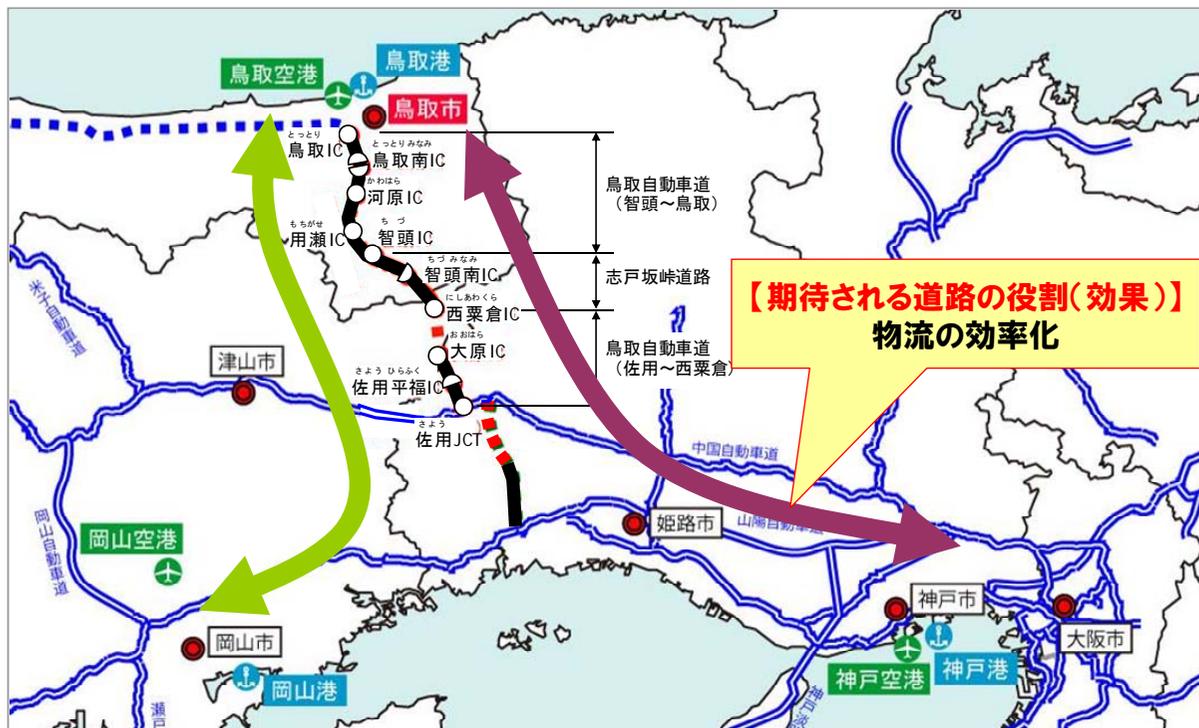
※所要時間はH17センサス旅行速度により算出。
ただし、現道の速度は類似箇所の旅行速度で算出。

5. 地域から期待される道路の役割(効果)

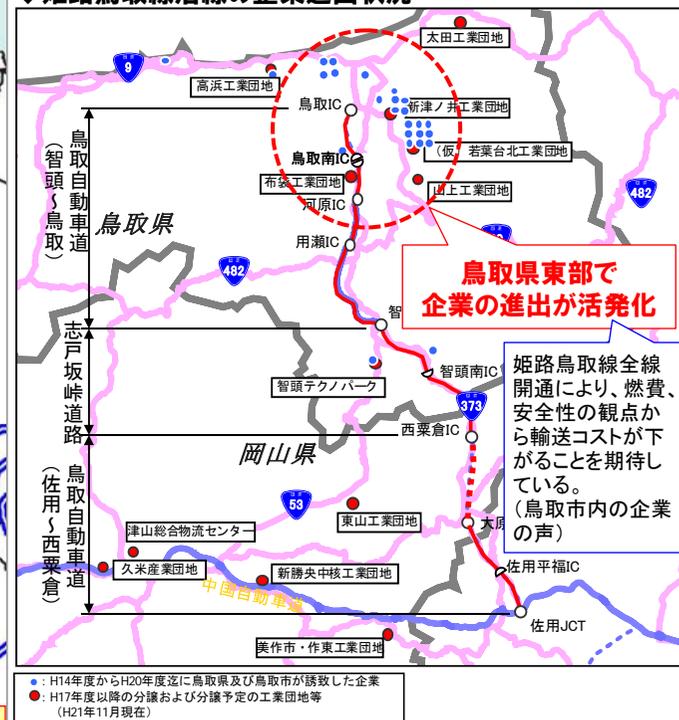
一般国道373号 志戸坂峠道路

課題② 物流ネットワークの形成

- ・ 姫路鳥取線沿線では全線供用が近づくにつれ、企業立地が増加しており、特に鳥取県東部では企業の進出が活発化している。
- ・ 全線供用により、神戸市から鳥取市へは約40分、岡山市から鳥取市へは約35分の所要時間が短縮する。
- ・ 特に物流の面で、鳥取と京阪神の結びつきは強く、京阪神と山陰が高速ネットワークで繋がることで、物流の効率化が期待される。



◆姫路鳥取線沿線の企業進出状況

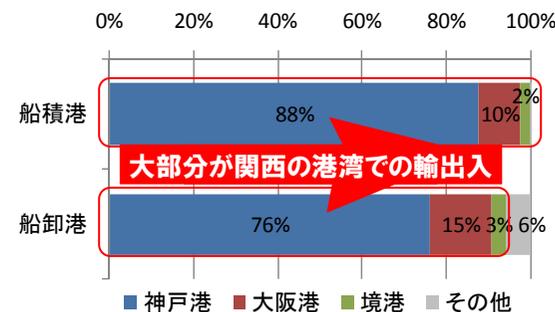


期待される道路の役割(効果)



※所要時間はH17センサス混雑時旅行速度により算出。ただし、鳥取自動車道の速度はV=70km/hとして算出。

【鳥取生活圏における輸出入品の船積・船卸港の内訳】



資料：H20全国輸出入貨物流動調査

5. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道373号 志戸坂峠道路

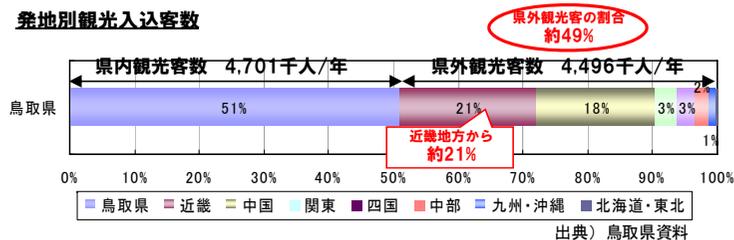
課題③ 観光振興

- ・ 姫路鳥取線沿線には観光地が多数存在しており、鳥取県には近畿地方から多くの観光客が訪問している。
- ・ 鳥取市と京阪神地域が3時間以内で結ばれ、沿線の観光施設の観光客の増加が期待される。

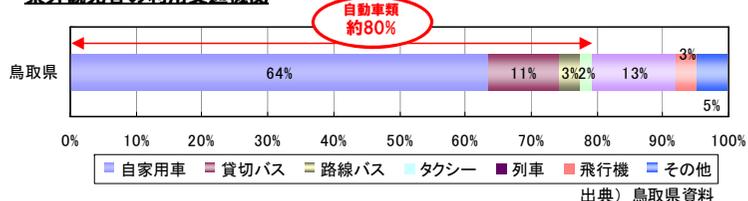
◆ 姫路鳥取線沿線の主要観光地



発地別観光入込客数



県外観光客の利用交通機関



期待される道路の役割(効果)

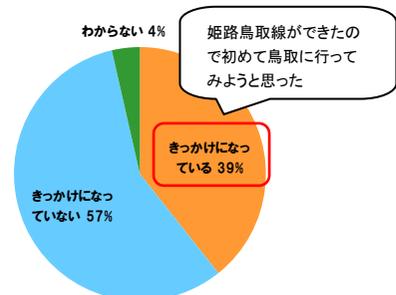
◆ 鳥取市の3時間圏域



～観光客の声～

- ・ 早く快適に走行できるようになったので、行く回数が増えた。
- ・ 鳥取自動車道を利用すると日帰りで観光することができる。

【姫路鳥取線供用と移動の関係性 (回答者75人)】



～観光施設の声～

- ・ 昨年と比べ利用客が増加している。
- ・ 特に関西ナンバーの自家用車が大幅に増えている。
- ・ 今後も、施設を利用させていただくため、案内板などPRを継続的に行ってきたい。
- ・ 関西方面に団体利用の送迎を行う際は、姫路鳥取線を利用している。時間も短縮し運転手の負担軽減になっている。
- ・ 平日にも姫路、大阪ナンバーの自家用車が多くみられるようになった。

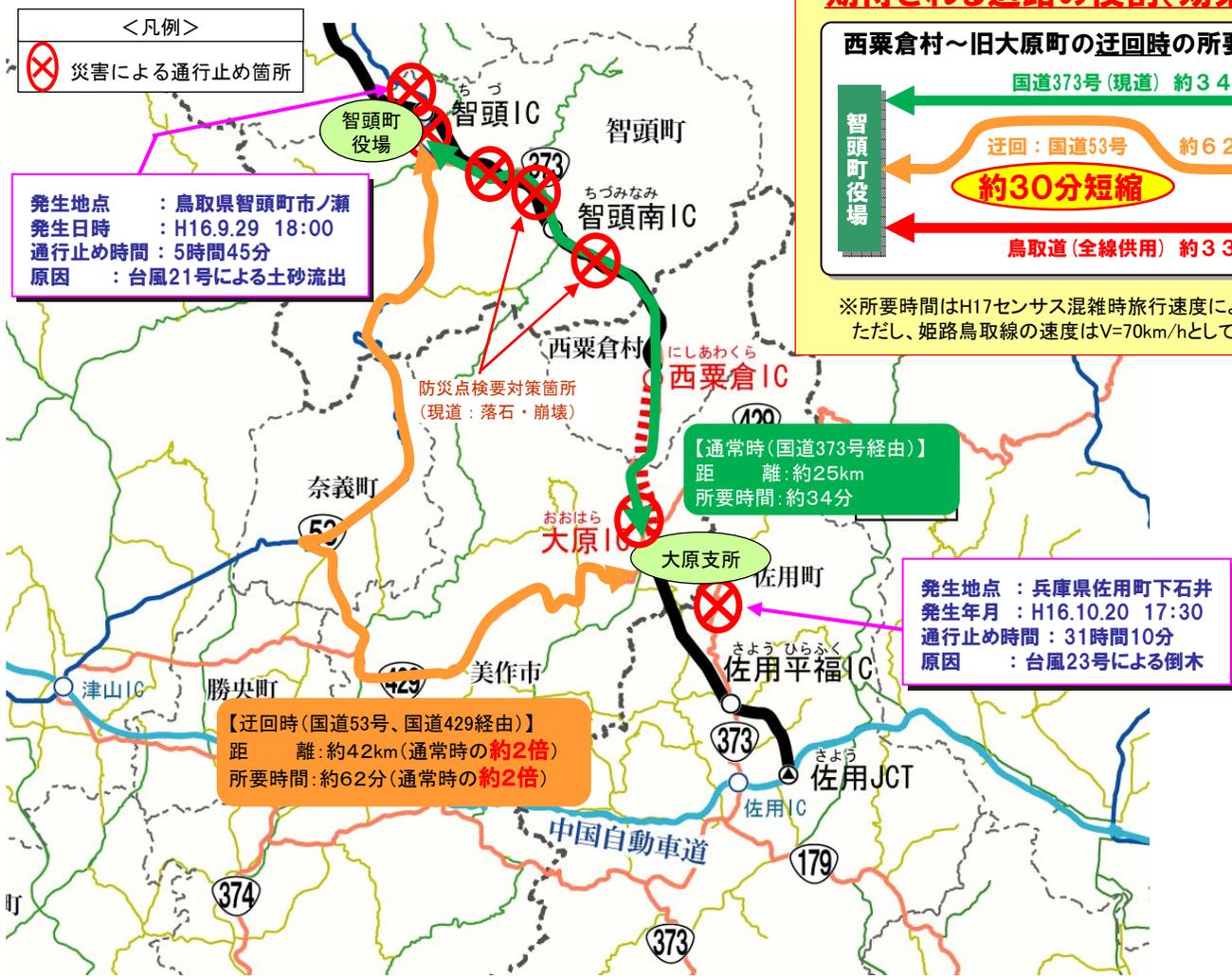
5. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道373号 志戸坂峠道路

課題④ 災害時における通行規制

- 兵庫県佐用町～鳥取県智頭町間の国道53号、国道373号では、H15年度以降に台風等に伴う災害による全面通行止めが7件発生。
- 通行止めに伴い、大幅な迂回を強いられており、住民の生活、物流等の経済活動に大きな影響を及ぼしている。
- 志戸坂峠道路や姫路鳥取線の整備により、道路網の信頼性向上が期待される。

◆災害による通行止め発生状況



5. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道373号 志戸坂峠道路

課題⑤ 沿道環境の改善

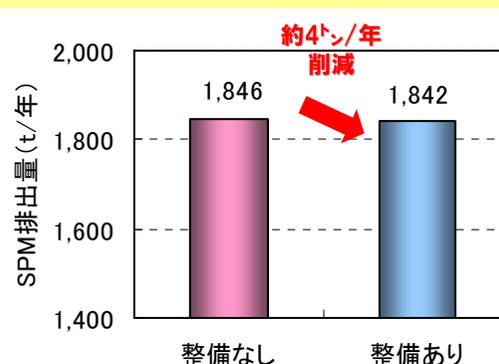
・志戸坂峠道路整備により、沿道環境の改善が期待される。

期待される道路の役割(効果)

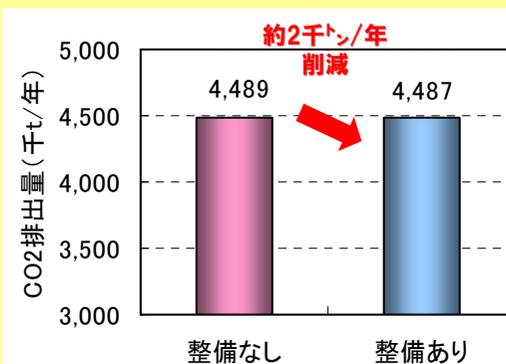
NOx排出量の削減



SPM排出量の削減



CO2排出量の削減



※各時点の交通量配分結果をもとに、交通量・旅行速度を用いて算出
※各排出量算定式:客観的評価指標の定量的評価指標の算出手法(案)

【損失時間および排出量算出対象範囲】
※各排出量算出対象範囲は費用便益分析対象範囲と同じ
※費用便益分析対象範囲
鳥取県全域、岡山県北部、岡山県東部、兵庫県全域 等

CO2排出量の削減

.....【約1.1億円】※

※【】試算値(供用後50年間の便益額として試算した値)

CO2貨幣価値原単位10,600円/t・C
公共事業評価の費用便益分析に関する
技術指針(共通編)平成20年6月 国土交通省

資料:客観的評価指標の定量的評価指標の算出手法(案)

6. 事業の効果

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
費用 (C)	1,398	12
事業費	1,328	9.6
維持管理費	70	2.6
便益額 (B)	690	65
走行時間短縮便益	541	51
走行経費減少便益	81	11
交通事故減少便益	69	3.6
費用便益比	0.5	5.3

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
走行経費減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行経費には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、交通渋滞による損失額が含まれる。

※費用便益比については、暫定2車線整備時の「費用(C)」、「便益(B)」により算出

◆道路の役割

■道路の役割 (+α)

- ①物流効率化の支援 [例] 神戸市～鳥取市までの所要時間短縮約40分]
- ②観光振興
- ③災害による通行止め時の迂回路の確保
- ④環境への影響を考慮した効果 [約2.2千ト/年のCO2削減] 【+1.1億円】※
志戸坂峠道路整備に伴う速度向上による環境 (CO2) の改善効果を算定

※【】試算値(供用後50年間の便益額として試算した値)

	計画交通量	総事業費	総費用(C)	総便益(B)	費用対効果(B/C) ()内は残事業B/C
参考① (3便益)	10,700台/日～10,800台/日	約910億円	1,398億円	690億円	0.5 (5.3)
参考② (その他の道路の役割を考慮)	10,700台/日～10,800台/日	約910億円	1,398億円	690億円 + α	—

※基準年：H22年

7. 今後の対応方針(原案)

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇一般国道373号では、災害・事故による通行止めが発生している。また、本路線と一体的整備が行われている中国横断道姫路鳥取線の整備を見越して、沿線地域では工業団地の開発・分譲が進んでいる

2) 事業の効果

◇費用便益比(B/C)= 0.5(事業全体) 5.3(残事業)

◇道路の役割

- ①物流効率化の支援 [例) 神戸市～鳥取市までの所要時間短縮約40分]
- ②観光振興
- ③災害による通行止め時の迂回路の確保
- ④環境への影響を考慮した効果 [約2.2千トンの/年のCO2削減] 【+1.1億円】※
志戸坂峠道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定

3) 事業の進捗状況

※【】試算値(供用後50年間の便益額として試算した値)

◇平成21年度末で用地買収は95%が完了しており、現在までに西粟倉IC～智頭ICまでの17.9kmが2車線で供用済み。

②事業の進捗見込み

◇姫路鳥取線との接続部0.5kmが平成24年度末に供用予定。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

◇擁壁や仮設防護柵に新技術を採用する等によるコスト縮減を図っている。

2. 県への意見照会結果

◇鳥取県知事の意見：

一般国道373号志戸坂峠道路の事業再評価に係る対応方針(原案)案については異存ありません。

一般国道373号志戸坂峠道路は、鳥取自動車道の一部を形成し、当県の自立的発展や地域間の広域連携に必要な不可欠な社会インフラです。鳥取自動車道の当県側はすでに開通しており、鳥取自動車道が高速道路ネットワークとしてその機能を発揮するためには、本事業の一刻も早い完成が必要です。公表されている平成24年度の確実な供用に向け、なお一層の御尽力をお願いします。

◇岡山県知事の意見：

一般国道373号志戸坂峠道路について、継続するとの対応方針(原案)案については異存ありません。

志戸坂峠道路は、高速道路のミッシングリンクを解消し、広域経済圏の形成や地域の自立的発展を図るため、本県にとって極めて重要な道路であることから、事業継続は妥当である。また、公表された供用予定時期である平成24年度に遅れることなく、整備促進をお願いしたい。

【今後の対応方針(原案)】

◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。

◇今後の事業の実施にあたっては、効率的に事業を進め、平成24年度末の供用を目指す。

◆志戸坂峠道路 前回評価時との比較

	前回評価 (H22再評価)	今回評価 (H22再々評価)	備考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=18.4km	L=18.4km	—
計画交通量	11,800台/日 ~12,100台/日	10,700台/日 ~10,800台/日	<ul style="list-style-type: none"> ・推計モデル及び将来フレーム設定を統一 ・ネットワーク設定の見直し (現況に加え、事業化済み箇所を考慮)
総事業費	約910億円	約910億円	—
総費用 (C)	1,392億円	1,398億円	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理費の見直し
総便益 (B)	1,551億円	690億円	<ul style="list-style-type: none"> ・推計モデル及び将来フレーム設定を統一 ・ネットワーク設定の見直し (現況に加え、事業化済み箇所を考慮)
費用対効果 (B/C)	1.1	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ・総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道373号 志戸坂峠道路

〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道373号 志戸坂峠道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B/C）=0.5（経済的純現在価値（B-C）=-708億円、経済的内部収益率（EIRR）=1.5%） 残事業：費用便益比（B/C）=5.3（経済的純現在価値（B-C）=53億円、経済的内部収益率（EIRR）=26.6%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について：（志戸坂峠道路〔岡山県英田郡西粟倉村影石～鳥取県八頭郡智頭町市ノ瀬〕） 当該区間の渋滞損失削減時間：654千人・時間/年（25,933千人・時間/年→25,279千人・時間/年） 当該区間の渋滞損失削減率：3%削減
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	宝塚～鳥取、京都～鳥取、大阪～鳥取の都市間高速バスの利便性向上が見込まれる。
		<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	農林水産業を主体とする地域名：鳥取県智頭町（スギ）
		<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である			
<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する			
	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる		

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	中国横断自動車道 姫路鳥取線
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	対象となる拠点都市：津山市～鳥取市、姫路市～鳥取市
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	対象となる日常活動圏中心都市：津山市～鳥取市、姫路市～鳥取市
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	現道等における大型車のすれ違い困難区間（智頭町大内地区）
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	八頭地域の入り込み客数（H21）：23万人／年
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての当該区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	第一次緊急輸送道路である一般国道53号および一般国道373号の代替路線として機能
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	現道等における防災点検箇所 2箇所
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	異常気象時通行止め区間（智頭町駒場）
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する			
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：2千t/年、排出削減率：約0.1%削減（整備なし：4,489千t/年⇒整備あり：4,487千t/年）
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNOx排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：16t/年、排出削減率：約0.1%削減（整備なし：23,181t/年⇒整備あり：23,165t/年）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：4t/年、排出削減率：約0.2%削減（整備なし：1,846t/年⇒整備あり：1,842t/年）
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置付けあり
		<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	中国横断自動車道姫路鳥取線と一体的整備による鳥取地域と京阪神地域との連携強化
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道373号	志戸坂峠道路	L= 18.4 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
10,700~10,800	2	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	876億円	146億円	1,022億円
うち残事業分	10億円	6.7億円	17億円
基準年における 現在価値 (C)	1,328億円	70億円	1,398億円
うち残事業分	9.6億円	2.6億円	12億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成25年度			
単年便益 (初年便益)	19億円	3.0億円	2.9億円	25億円
基準年における 現在価値 (B)	541億円	81億円	69億円	690億円
うち残事業分	51億円	11億円	3.6億円	65億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	0.5
経済的純現在価値（事業全体）	-708億円
経済的内部収益率（事業全体）	1.5%
費用便益比（残事業）	5.3
経済的純現在価値（残事業）	53億円
経済的内部収益率（残事業）	26.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	10,700~10,800	±10%	4.6~6.1
事業費	10億円	±10%	4.9~5.8
事業期間	2年	±20%	5.2~5.5

交通状況の変化

様式-3①

事業名：志戸坂峠道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 18.4km	交通量	[台/日]	—	10,800	
	走行時間	[分]	—	17	
	走行時間費用	[億円/年]	—	38.00	
②主な周 辺道路	現道 国道373号 15.4km	交通量	[台/日]	9,000	800
		走行時間	[分]	33	22
		走行時間費用	[億円/年]	58.63	2.88
	国道53号 0.9km	交通量	[台/日]	19,300	10,400
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	4.83	2.36
③その他道路合計 5496.3km	走行時間費用	[億円/年]	5,595.93	5,592.00	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：5531.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5,659.39	5,635.24	24.15

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：志戸坂峠道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 18.4km	交通量	[台/日]	10,600	10,800	
	走行時間	[分]	17	17	
	走行時間費用	[億円/年]	36.57	38.00	
②主な周 辺道路	現道 国道373号 14.8km	交通量	[台/日]	4,100	3,700
		走行時間	[分]	19	18
		走行時間費用	[億円/年]	14.37	11.34
	国道53号 19.9km	交通量	[台/日]	5,100	5,000
		走行時間	[分]	26	26
		走行時間費用	[億円/年]	25.83	25.61
③その他道路合計 3772.8km	走行時間費用	[億円/年]	2,893.53	2,892.66	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3825.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,970.30	2,967.61	2.69

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：志戸坂峠道路

(2)

		項目	チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他		<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間		50年間	
	社会的割引率		4%	
	基準年次		平成22年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)	
		複数時点での推計		<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		<input type="checkbox"/>
		その他()		<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無		<input checked="" type="checkbox"/>
		有		<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分		<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分		<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		<input type="checkbox"/>	
	簡易手法		<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である		<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない		<input type="checkbox"/>
		その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
その他()		<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載		<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載		<input type="checkbox"/>	
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)		<input checked="" type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	()%
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	()日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	()日
	採用した冬期日数の考え方を記載			
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
その他 ()		<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 志戸坂峠道路(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.17	18.4	3.08	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-31年目	S 52	3.6484	76.0	1.20	5.26		
-30年目	S 53	3.5081	79.2	6.00	24.26		
-29年目	S 54	3.3731	81.3	15.00	56.82		
-28年目	S 55	3.2434	86.4	7.35	25.19		
-27年目	S 56	3.1187	88.6	4.05	13.02		
-26年目	S 57	2.9987	89.6	0.45	1.38		
-25年目	S 58	2.8834	90.5	1.66	4.83		
-24年目	S 59	2.7725	92.3	1.60	4.39		
-23年目	S 60	2.6658	93.0	2.40	6.28		
-22年目	S 61	2.5633	94.6	3.30	8.16		
-21年目	S 62	2.4647	94.4	6.80	16.21		
-20年目	S 63	2.3699	94.9	15.40	35.11		
-19年目	H 1	2.2788	97.4	15.73	33.60		
-18年目	H 2	2.1911	99.6	13.64	27.40		
-17年目	H 3	2.1068	102.0	35.92	67.73		
-16年目	H 4	2.0258	103.4	34.46	61.64		
-15年目	H 5	1.9479	103.7	42.98	73.71		
-14年目	H 6	1.8730	103.6	42.40	69.99		
-13年目	H 7	1.8009	103.0	40.49	64.64		
-12年目	H 8	1.7317	102.4	30.10	46.47		
-11年目	H 9	1.6651	103.4	16.70	24.56		
-10年目	H 10	1.6010	102.8	35.77	50.86		
-9年目	H 11	1.5395	101.3	37.61	52.18		
-8年目	H 12	1.4802	99.7	35.33	47.89		
-7年目	H 13	1.4233	98.4	36.81	48.62		
-6年目	H 14	1.3686	96.6	49.55	64.09		
-5年目	H 15	1.3159	95.4	57.56	72.49		
-4年目	H 16	1.2653	94.4	57.28	70.10		
-3年目	H 17	1.2167	93.2	59.62	71.06		
-2年目	H 18	1.1699	92.5	47.43	54.76		
-1年目	H 19	1.1249	91.7	52.82	59.15		
部分供用開始	H 20	1.0816	91.3	33.15	35.86	2.80	3.03
1年目	H 21	1.0400	91.3	22.57	23.48	2.80	2.91
2年目	H 22	1.0000	91.3	2.86	2.86	2.80	2.80
3年目	H 23	0.9615	91.3	5.71	5.49	2.80	2.69
4年目	H 24	0.9246	91.3	4.30	3.97	2.80	2.59
暫定供用開始	H 25	0.8890	91.3	0.15	0.14	2.93	2.61
6年目	H 26	0.8548	91.3			2.93	2.51
7年目	H 27	0.8219	91.3			2.93	2.41
8年目	H 28	0.7903	91.3			2.93	2.32
9年目	H 29	0.7599	91.3			2.93	2.23
10年目	H 30	0.7307	91.3			2.93	2.14
11年目	H 31	0.7026	91.3			2.93	2.06
12年目	H 32	0.6756	91.3			2.93	1.98
13年目	H 33	0.6496	91.3			2.93	1.91
14年目	H 34	0.6246	91.3			2.93	1.83
15年目	H 35	0.6006	91.3			2.93	1.76
16年目	H 36	0.5775	91.3			2.93	1.69
17年目	H 37	0.5553	91.3			2.93	1.63
18年目	H 38	0.5339	91.3			2.93	1.57
19年目	H 39	0.5134	91.3			2.93	1.51
20年目	H 40	0.4936	91.3			2.93	1.45
21年目	H 41	0.4746	91.3			2.93	1.39
22年目	H 42	0.4564	91.3			2.93	1.34
23年目	H 43	0.4388	91.3			2.93	1.29
24年目	H 44	0.4220	91.3			2.93	1.24
25年目	H 45	0.4057	91.3			2.93	1.19
26年目	H 46	0.3901	91.3			2.93	1.14
27年目	H 47	0.3751	91.3			2.93	1.10
28年目	H 48	0.3607	91.3			2.93	1.06
29年目	H 49	0.3468	91.3			2.93	1.02
30年目	H 50	0.3335	91.3			2.93	0.98
31年目	H 51	0.3207	91.3			2.93	0.94
32年目	H 52	0.3083	91.3			2.93	0.90
33年目	H 53	0.2965	91.3			2.93	0.87
34年目	H 54	0.2851	91.3			2.93	0.84
35年目	H 55	0.2741	91.3			2.93	0.80
36年目	H 56	0.2636	91.3			2.93	0.77
37年目	H 57	0.2534	91.3			2.93	0.74
38年目	H 58	0.2437	91.3			2.93	0.71
39年目	H 59	0.2343	91.3			2.93	0.69
40年目	H 60	0.2253	91.3			2.93	0.66
41年目	H 61	0.2166	91.3			2.93	0.64
42年目	H 62	0.2083	91.3			2.93	0.61
43年目	H 63	0.2003	91.3			2.93	0.59
44年目	H 64	0.1926	91.3			2.93	0.56
45年目	H 65	0.1852	91.3			2.93	0.54
46年目	H 66	0.1780	91.3			2.93	0.52
47年目	H 67	0.1712	91.3			2.93	0.50
48年目	H 68	0.1646	91.3			2.93	0.48
49年目	H 69	0.1583	91.3	-35.98	-5.70	2.93	0.46
合計				840.17	1327.95	146.00	70.21
単純事業費計				876.15		146.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 志戸坂峠道路(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.28	0.5	0.14	
-2年目	H 23	0.9615	91.3	5.71	5.49		
-1年目	H 24	0.9246	91.3	4.30	3.97		
暫定供用開始	H 25	0.8890	91.3	0.15	0.14	0.13	0.12
1年目	H 26	0.8548	91.3			0.13	0.11
2年目	H 27	0.8219	91.3			0.13	0.11
3年目	H 28	0.7903	91.3			0.13	0.11
4年目	H 29	0.7599	91.3			0.13	0.10
5年目	H 30	0.7307	91.3			0.13	0.10
6年目	H 31	0.7026	91.3			0.13	0.09
7年目	H 32	0.6756	91.3			0.13	0.09
8年目	H 33	0.6496	91.3			0.13	0.09
9年目	H 34	0.6246	91.3			0.13	0.08
10年目	H 35	0.6006	91.3			0.13	0.08
11年目	H 36	0.5775	91.3			0.13	0.08
12年目	H 37	0.5553	91.3			0.13	0.07
13年目	H 38	0.5339	91.3			0.13	0.07
14年目	H 39	0.5134	91.3			0.13	0.07
15年目	H 40	0.4936	91.3			0.13	0.07
16年目	H 41	0.4746	91.3			0.13	0.06
17年目	H 42	0.4564	91.3			0.13	0.06
18年目	H 43	0.4388	91.3			0.13	0.06
19年目	H 44	0.4220	91.3			0.13	0.06
20年目	H 45	0.4057	91.3			0.13	0.05
21年目	H 46	0.3901	91.3			0.13	0.05
22年目	H 47	0.3751	91.3			0.13	0.05
23年目	H 48	0.3607	91.3			0.13	0.05
24年目	H 49	0.3468	91.3			0.13	0.05
25年目	H 50	0.3335	91.3			0.13	0.04
26年目	H 51	0.3207	91.3			0.13	0.04
27年目	H 52	0.3083	91.3			0.13	0.04
28年目	H 53	0.2965	91.3			0.13	0.04
29年目	H 54	0.2851	91.3			0.13	0.04
30年目	H 55	0.2741	91.3			0.13	0.04
31年目	H 56	0.2636	91.3			0.13	0.04
32年目	H 57	0.2534	91.3			0.13	0.03
33年目	H 58	0.2437	91.3			0.13	0.03
34年目	H 59	0.2343	91.3			0.13	0.03
35年目	H 60	0.2253	91.3			0.13	0.03
36年目	H 61	0.2166	91.3			0.13	0.03
37年目	H 62	0.2083	91.3			0.13	0.03
38年目	H 63	0.2003	91.3			0.13	0.03
39年目	H 64	0.1926	91.3			0.13	0.03
40年目	H 65	0.1852	91.3			0.13	0.02
41年目	H 66	0.1780	91.3			0.13	0.02
42年目	H 67	0.1712	91.3			0.13	0.02
43年目	H 68	0.1646	91.3			0.13	0.02
44年目	H 69	0.1583	91.3			0.13	0.02
45年目	H 70	0.1522	91.3			0.13	0.02
46年目	H 71	0.1463	91.3			0.13	0.02
47年目	H 72	0.1407	91.3			0.13	0.02
48年目	H 73	0.1353	91.3			0.13	0.02
49年目	H 74	0.1301	91.3			0.13	0.02
合計				10.16	9.60	6.67	2.65
単純事業費計				10.16		6.67	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

便益の現在価値算定表

箇所名: 志戸坂峠道路(事業全体)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
暫定供用年	H 20	0.99486	0.99313	1.00825	0.99583	1.0816	91.3	6.65	0.04	12.79	19.47	21.06	1.55	0.00	1.42	2.97	3.21	2.93	3.17	25.37	27.44
1年目	H 21	0.99484	0.99308	1.00818	0.99581	1.0400	91.3	6.61	0.04	12.89	19.54	20.32	1.54	0.00	1.43	2.97	3.09	2.92	3.04	25.43	26.45
2年目	H 22	0.99481	0.99303	1.00812	0.99579	1.0000	91.3	6.58	0.04	12.99	19.61	19.61	1.53	0.00	1.44	2.98	2.98	2.91	2.91	25.49	25.49
3年目	H 23	0.99478	0.99299	1.00805	0.99578	0.9615	91.3	6.54	0.04	13.10	19.68	18.92	1.52	0.00	1.45	2.98	2.87	2.90	2.79	25.56	24.57
4年目	H 24	0.99476	0.99294	1.00799	0.99576	0.9246	91.3	6.51	0.04	13.20	19.75	18.26	1.51	0.00	1.47	2.98	2.76	2.89	2.67	25.62	23.68
供用開始年次	H 25	0.99473	0.99289	1.00792	0.99574	0.8890	91.3	7.07	0.18	14.90	22.15	19.69	1.58	0.02	1.79	3.40	3.02	3.05	2.71	28.60	25.42
6年目	H 26	0.99470	0.99283	1.00786	0.99572	0.8548	91.3	7.03	0.18	15.02	22.22	19.00	1.58	0.02	1.80	3.40	2.91	3.04	2.60	28.67	24.51
7年目	H 27	0.99467	0.99278	1.00780	0.99570	0.8219	91.3	6.99	0.17	15.13	22.30	18.33	1.57	0.02	1.82	3.41	2.80	3.03	2.49	28.74	23.62
8年目	H 28	0.99464	0.99273	1.00774	0.99568	0.7903	91.3	6.96	0.17	15.25	22.38	17.69	1.56	0.02	1.83	3.41	2.70	3.01	2.38	28.81	22.77
9年目	H 29	0.99461	0.99268	1.00768	0.99567	0.7599	91.3	6.92	0.17	15.37	22.46	17.07	1.55	0.02	1.85	3.42	2.60	3.00	2.28	28.88	21.95
10年目	H 30	0.99459	0.99262	1.00762	0.99565	0.7307	91.3	6.88	0.17	15.49	22.54	16.47	1.54	0.02	1.86	3.43	2.50	2.99	2.18	28.95	21.16
11年目	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.7026	91.3	6.85	0.17	15.60	22.62	15.89	1.53	0.02	1.88	3.43	2.41	2.98	2.09	29.02	20.39
12年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.6756	91.3	6.81	0.17	15.72	22.70	15.33	1.53	0.02	1.89	3.44	2.32	2.96	2.00	29.09	19.65
13年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.6496	91.3	6.78	0.17	15.89	22.84	14.84	1.52	0.02	1.91	3.45	2.24	2.95	1.92	29.25	19.00
14年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.6246	91.3	6.75	0.17	16.07	22.99	14.36	1.51	0.02	1.93	3.47	2.17	2.94	1.84	29.40	18.36
15年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6006	91.3	6.73	0.16	16.24	23.13	13.89	1.51	0.02	1.95	3.48	2.09	2.94	1.76	29.55	17.75
16年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.5775	91.3	6.70	0.16	16.41	23.28	13.44	1.50	0.02	1.97	3.50	2.02	2.93	1.69	29.70	17.15
17年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.5533	91.3	6.67	0.16	16.59	23.42	13.01	1.50	0.02	1.99	3.51	1.95	2.92	1.62	29.85	16.58
18年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.5339	91.3	6.65	0.16	16.76	23.57	12.58	1.49	0.02	2.01	3.53	1.88	2.91	1.55	30.00	16.02
19年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5134	91.3	6.62	0.16	16.93	23.71	12.17	1.48	0.02	2.04	3.54	1.82	2.90	1.49	30.16	15.48
20年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.4936	91.3	6.59	0.16	17.11	23.86	11.78	1.48	0.02	2.06	3.55	1.75	2.89	1.43	30.31	14.96
21年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.4746	91.3	6.57	0.16	17.28	24.01	11.39	1.47	0.02	2.08	3.57	1.69	2.88	1.37	30.46	14.46
22年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.4564	91.3	6.54	0.16	17.45	24.15	11.02	1.47	0.02	2.10	3.58	1.64	2.88	1.31	30.61	13.97
23年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4388	91.3	6.48	0.15	17.46	24.09	10.57	1.45	0.02	2.10	3.57	1.57	2.85	1.25	30.51	13.39
24年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4220	91.3	6.41	0.15	17.47	24.03	10.14	1.44	0.02	2.10	3.56	1.50	2.83	1.19	30.42	12.83
25年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4057	91.3	6.34	0.15	17.47	23.97	9.73	1.42	0.02	2.10	3.54	1.44	2.81	1.14	30.32	12.30
26年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.3901	91.3	6.28	0.15	17.48	23.91	9.33	1.41	0.02	2.10	3.53	1.38	2.78	1.09	30.22	11.79
27年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.3751	91.3	6.21	0.15	17.49	23.85	8.95	1.39	0.02	2.10	3.51	1.32	2.76	1.04	30.12	11.30
28年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.3607	91.3	6.15	0.15	17.49	23.79	8.58	1.38	0.02	2.10	3.50	1.26	2.74	0.99	30.03	10.83
29年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3468	91.3	6.08	0.15	17.50	23.73	8.23	1.36	0.02	2.10	3.49	1.21	2.71	0.94	29.93	10.38
30年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3335	91.3	6.01	0.15	17.51	23.67	7.89	1.35	0.02	2.10	3.47	1.16	2.69	0.90	29.83	9.95
31年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3207	91.3	5.95	0.15	17.51	23.61	7.57	1.33	0.02	2.10	3.46	1.11	2.67	0.86	29.73	9.53
32年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3083	91.3	5.88	0.14	17.52	23.55	7.26	1.32	0.02	2.11	3.44	1.06	2.65	0.82	29.64	9.14
33年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.2965	91.3	5.82	0.14	17.53	23.49	6.96	1.30	0.02	2.11	3.43	1.02	2.62	0.78	29.54	8.76
34年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.2851	91.3	5.75	0.14	17.53	23.43	6.68	1.29	0.02	2.11	3.41	0.97	2.60	0.74	29.44	8.39
35年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.2741	91.3	5.69	0.14	17.54	23.37	6.40	1.27	0.02	2.11	3.40	0.93	2.58	0.71	29.34	8.04
36年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2636	91.3	5.62	0.14	17.55	23.31	6.14	1.26	0.02	2.11	3.39	0.89	2.55	0.67	29.25	7.71
37年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2534	91.3	5.55	0.14	17.55	23.24	5.89	1.24	0.02	2.11	3.37	0.85	2.53	0.64	29.15	7.39
38年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2437	91.3	5.49	0.14	17.56	23.18	5.65	1.23	0.02	2.11	3.36	0.82	2.51	0.61	29.05	7.08
39年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2343	91.3	5.42	0.14	17.57	23.12	5.42	1.22	0.02	2.11	3.34	0.78	2.49	0.58	28.95	6.78
40年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2253	91.3	5.36	0.14	17.57	23.06	5.20	1.20	0.02	2.11	3.33	0.75	2.46	0.55	28.86	6.50
41年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2166	91.3	5.29	0.14	17.58	23.00	4.98	1.19	0.02	2.11	3.32	0.72	2.44	0.53	28.76	6.23
42年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2083	91.3	5.22	0.13	17.58	22.94	4.78	1.17	0.02	2.11	3.30	0.69	2.42	0.50	28.66	5.97
43年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2003	91.3	5.16	0.13	17.59	22.88	4.58	1.16	0.02	2.11	3.29	0.66	2.39	0.48	28.56	5.72
44年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.1926	91.3	5.09	0.13	17.60	22.82	4.39	1.14	0.02	2.12	3.27	0.63	2.37	0.46	28.47	5.48
45年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.1852	91.3	5.03	0.13	17.60	22.76	4.21	1.13	0.02	2.12	3.26	0.60	2.35	0.43	28.37	5.25
46年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.1780	91.3	4.96	0.13	17.61	22.70	4.04	1.11	0.02	2.12	3.25	0.58	2.32	0.41	28.27	5.03
47年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1712	91.3	4.89	0.13	17.62	22.64	3.88	1.10	0.02	2.12	3.23	0.55	2.30	0.39	28.17	4.82
48年目	H 68	0.98655	0																		

便益の現在価値算定表

箇所名: 志戸坂峠道路(残事業)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%			
																			①計	②計	③
供用開始年次	H 25	0.99473	0.99289	1.00792	0.99574	0.8890	91.3	0.76	0.12	1.60	2.48	2.21	0.13	0.02	0.36	0.51	0.46	0.20	0.17	3.19	2.84
1年目	H 26	0.99470	0.99283	1.00786	0.99572	0.8548	91.3	0.75	0.12	1.62	2.49	2.13	0.13	0.02	0.37	0.52	0.44	0.19	0.17	3.20	2.74
2年目	H 27	0.99467	0.99278	1.00780	0.99570	0.8219	91.3	0.75	0.12	1.63	2.50	2.05	0.13	0.02	0.37	0.52	0.43	0.19	0.16	3.21	2.64
3年目	H 28	0.99464	0.99273	1.00774	0.99568	0.7903	91.3	0.74	0.12	1.64	2.51	1.98	0.13	0.02	0.37	0.52	0.41	0.19	0.15	3.22	2.54
4年目	H 29	0.99461	0.99268	1.00768	0.99567	0.7599	91.3	0.74	0.12	1.65	2.51	1.91	0.13	0.02	0.38	0.52	0.40	0.19	0.15	3.23	2.45
5年目	H 30	0.99459	0.99262	1.00762	0.99565	0.7307	91.3	0.74	0.12	1.67	2.52	1.84	0.13	0.02	0.38	0.52	0.38	0.19	0.14	3.24	2.36
6年目	H 31	0.99456	0.99257	1.00756	0.99563	0.7026	91.3	0.73	0.12	1.68	2.53	1.78	0.13	0.02	0.38	0.53	0.37	0.19	0.13	3.25	2.28
7年目	H 32	0.99453	0.99251	1.00751	0.99561	0.6756	91.3	0.73	0.12	1.69	2.54	1.71	0.13	0.02	0.38	0.53	0.36	0.19	0.13	3.25	2.20
8年目	H 33	0.99608	0.99238	1.01104	0.99706	0.6496	91.3	0.72	0.12	1.71	2.55	1.66	0.13	0.02	0.39	0.53	0.35	0.19	0.12	3.27	2.13
9年目	H 34	0.99607	0.99232	1.01092	0.99705	0.6246	91.3	0.72	0.12	1.73	2.57	1.60	0.13	0.02	0.39	0.54	0.33	0.19	0.12	3.29	2.06
10年目	H 35	0.99605	0.99226	1.01080	0.99704	0.6006	91.3	0.72	0.12	1.75	2.58	1.55	0.13	0.02	0.40	0.54	0.32	0.19	0.11	3.31	1.99
11年目	H 36	0.99604	0.99220	1.01069	0.99703	0.5775	91.3	0.72	0.11	1.77	2.60	1.50	0.12	0.02	0.40	0.54	0.31	0.19	0.11	3.33	1.92
12年目	H 37	0.99602	0.99214	1.01057	0.99702	0.5553	91.3	0.71	0.11	1.78	2.61	1.45	0.12	0.02	0.40	0.55	0.30	0.19	0.10	3.34	1.86
13年目	H 38	0.99601	0.99208	1.01046	0.99701	0.5339	91.3	0.71	0.11	1.80	2.63	1.40	0.12	0.02	0.41	0.55	0.29	0.19	0.10	3.36	1.80
14年目	H 39	0.99599	0.99201	1.01035	0.99701	0.5134	91.3	0.71	0.11	1.82	2.64	1.36	0.12	0.02	0.41	0.55	0.28	0.19	0.10	3.38	1.74
15年目	H 40	0.99597	0.99195	1.01025	0.99700	0.4936	91.3	0.70	0.11	1.84	2.66	1.31	0.12	0.02	0.42	0.56	0.27	0.19	0.09	3.40	1.68
16年目	H 41	0.99596	0.99188	1.01014	0.99699	0.4746	91.3	0.70	0.11	1.86	2.67	1.27	0.12	0.02	0.42	0.56	0.27	0.18	0.09	3.42	1.62
17年目	H 42	0.99594	0.99182	1.01004	0.99698	0.4564	91.3	0.70	0.11	1.88	2.69	1.23	0.12	0.02	0.43	0.56	0.26	0.18	0.08	3.43	1.57
18年目	H 43	0.98993	0.99330	1.00037	0.99202	0.4388	91.3	0.69	0.11	1.88	2.68	1.18	0.12	0.02	0.43	0.56	0.25	0.18	0.08	3.42	1.50
19年目	H 44	0.98983	0.99325	1.00037	0.99196	0.4220	91.3	0.68	0.11	1.88	2.67	1.13	0.12	0.02	0.43	0.56	0.24	0.18	0.08	3.41	1.44
20年目	H 45	0.98973	0.99321	1.00037	0.99189	0.4057	91.3	0.68	0.11	1.88	2.66	1.08	0.12	0.02	0.43	0.56	0.23	0.18	0.07	3.40	1.38
21年目	H 46	0.98962	0.99316	1.00037	0.99182	0.3901	91.3	0.67	0.11	1.88	2.66	1.04	0.12	0.02	0.43	0.56	0.22	0.18	0.07	3.40	1.32
22年目	H 47	0.98951	0.99312	1.00037	0.99176	0.3751	91.3	0.66	0.11	1.88	2.65	0.99	0.12	0.02	0.43	0.56	0.21	0.18	0.07	3.39	1.27
23年目	H 48	0.98940	0.99307	1.00037	0.99169	0.3607	91.3	0.66	0.10	1.88	2.64	0.95	0.11	0.02	0.43	0.56	0.20	0.18	0.06	3.38	1.22
24年目	H 49	0.98929	0.99302	1.00037	0.99162	0.3468	91.3	0.65	0.10	1.88	2.64	0.91	0.11	0.02	0.43	0.56	0.19	0.17	0.06	3.37	1.17
25年目	H 50	0.98917	0.99297	1.00037	0.99155	0.3335	91.3	0.64	0.10	1.88	2.63	0.88	0.11	0.02	0.43	0.55	0.18	0.17	0.06	3.36	1.12
26年目	H 51	0.98905	0.99292	1.00037	0.99148	0.3207	91.3	0.64	0.10	1.88	2.62	0.84	0.11	0.02	0.43	0.55	0.18	0.17	0.05	3.35	1.07
27年目	H 52	0.98893	0.99287	1.00037	0.99140	0.3083	91.3	0.63	0.10	1.88	2.62	0.81	0.11	0.01	0.43	0.55	0.17	0.17	0.05	3.34	1.03
28年目	H 53	0.98881	0.99282	1.00037	0.99133	0.2965	91.3	0.62	0.10	1.89	2.61	0.77	0.11	0.01	0.43	0.55	0.16	0.17	0.05	3.33	0.99
29年目	H 54	0.98868	0.99277	1.00037	0.99125	0.2851	91.3	0.61	0.10	1.89	2.60	0.74	0.11	0.01	0.43	0.55	0.16	0.17	0.05	3.32	0.95
30年目	H 55	0.98855	0.99271	1.00037	0.99118	0.2741	91.3	0.61	0.10	1.89	2.59	0.71	0.11	0.01	0.43	0.55	0.15	0.16	0.05	3.31	0.91
31年目	H 56	0.98842	0.99266	1.00037	0.99110	0.2636	91.3	0.60	0.10	1.89	2.59	0.68	0.10	0.01	0.43	0.55	0.14	0.16	0.04	3.30	0.87
32年目	H 57	0.98828	0.99261	1.00037	0.99102	0.2534	91.3	0.59	0.10	1.89	2.58	0.65	0.10	0.01	0.43	0.55	0.14	0.16	0.04	3.29	0.83
33年目	H 58	0.98814	0.99255	1.00037	0.99094	0.2437	91.3	0.59	0.10	1.89	2.57	0.63	0.10	0.01	0.43	0.55	0.13	0.16	0.04	3.28	0.80
34年目	H 59	0.98800	0.99250	1.00037	0.99085	0.2343	91.3	0.58	0.10	1.89	2.57	0.60	0.10	0.01	0.43	0.54	0.13	0.16	0.04	3.27	0.77
35年目	H 60	0.98786	0.99244	1.00037	0.99077	0.2253	91.3	0.57	0.10	1.89	2.56	0.58	0.10	0.01	0.43	0.54	0.12	0.16	0.04	3.26	0.73
36年目	H 61	0.98771	0.99238	1.00037	0.99068	0.2166	91.3	0.57	0.10	1.89	2.55	0.55	0.10	0.01	0.43	0.54	0.12	0.16	0.03	3.25	0.70
37年目	H 62	0.98755	0.99232	1.00037	0.99059	0.2083	91.3	0.56	0.09	1.89	2.54	0.53	0.10	0.01	0.43	0.54	0.11	0.15	0.03	3.24	0.67
38年目	H 63	0.98740	0.99226	1.00037	0.99051	0.2003	91.3	0.55	0.09	1.89	2.54	0.51	0.10	0.01	0.43	0.54	0.11	0.15	0.03	3.23	0.65
39年目	H 64	0.98724	0.99220	1.00037	0.99041	0.1926	91.3	0.54	0.09	1.89	2.53	0.49	0.09	0.01	0.43	0.54	0.10	0.15	0.03	3.22	0.62
40年目	H 65	0.98707	0.99214	1.00037	0.99032	0.1852	91.3	0.54	0.09	1.89	2.52	0.47	0.09	0.01	0.43	0.54	0.10	0.15	0.03	3.21	0.59
41年目	H 66	0.98690	0.99208	1.00037	0.99023	0.1780	91.3	0.53	0.09	1.89	2.52	0.45	0.09	0.01	0.43	0.54	0.10	0.15	0.03	3.20	0.57
42年目	H 67	0.98673	0.99202	1.00037	0.99013	0.1712	91.3	0.52	0.09	1.90	2.51	0.43	0.09	0.01	0.43	0.53	0.09	0.15	0.03	3.19	0.55
43年目	H 68	0.98655	0.99195	1.00037	0.99003	0.1646	91.3	0.52	0.09	1.90	2.50	0.41	0.09	0.01	0.43	0.53	0.09	0.15	0.02	3.18	0.52
44年目	H 69	0.98637	0.99189	1.00037	0.98993	0.1583	91.3	0.51	0.09	1.90	2.50	0.39	0.09	0.01	0.43	0.53	0.08	0.14	0.02	3.17	0.50
45年目	H 70	0.98618	0.99182	1.00037	0.98983	0.1522	91.3	0.50	0.09	1.90	2.49	0.38	0.09	0.01	0.43	0.53	0.08	0.14	0.02	3.16	0.48
46年目	H 71	0.98598	0.99175	1.00037	0.98973	0.1463	91.3	0.49	0.09	1.90	2.48	0.36	0.09	0.01	0.43	0.53	0.08	0.14	0.02	3.15	0.46
47年目	H 72	0.98578	0.99168	1.00037	0.98962	0.1407	91.3	0.49	0.09	1.90	2.47	0.35	0.09	0.01	0.43	0.53	0.07	0.14	0.02	3.14	0.44
48年目	H 73	0.98558	0.99161	1.00037	0.98951	0.1353	91.3	0.48	0.09	1.90	2.47	0.33	0.08	0.01	0.43	0.53	0.07	0.14	0.02	3.13	0.42
49年目	H 74	0.98537	0.99154	1.00037	0.98940	0.1301	91.3	0.47	0.09	1.90	2.46	0.32	0.08	0.01	0.43	0.53	0.07	0.14	0.02	3.12	0.41
合計								31.70	5.20	91.58	128.49	51.08	5.53	0.76	20.77	27.07	10.71	8.52	3.56	164.08	65.36

路線名	箇所名	車線数	延長
中国横断自動車道	志戸坂峠道路	2/4	18.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費		式	1	69,439	
	改良費		式	1	7,308	
		土工	m ³	1,636,555	3,920	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m ³	3,470	4	
		法面工	m ²	180,806	990	切土法面、盛土法面、法枠
		擁壁工	式	1	1,633	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁、扶壁式擁壁、補強土壁
		函渠工	式	1	761	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	14,693	
		100m以上	m	2,898	12,926	PC橋(8橋)、ME橋(5橋)
		100m未満	m	350	1,767	PC橋(2橋)、ME橋(5橋)
	トンネル費		式	1	28,417	
		NATM	m	10,186	28,417	12本
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	1	6,003	
		IC	箇所	5	6,003	ダイヤモンド型(3箇所)、トランペット型(1箇所)、平面Y型(1箇所)
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	2,767	
		車道舗装	m ²	193,000	2,767	
		歩道舗装	m ²	—	—	
	附帯施設費		式	1	10,212	
		交通管理施設工	式	1	10,212	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
		遮音壁	m	—	—	
②	用地及び補償費		式	1	5,006	
	用地費		式	1	3,598	
		宅地	m ²	5,117	443	
		田畑	m ²	125,535	1,030	
		山林・原野	m ²	444,045	2,125	
	補償費		式	1	1,408	
③	間接経費		式	1	16,554	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				90,960	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
中国横断自動車道	志戸坂峠道路	2/4	18.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費		式	1	917	
	改良費		式	—	—	
		土工	m3	—	—	
		軟弱地盤改良工	m3	—	—	
		法面工	m2	—	—	
		擁壁工	式	—	—	
		函渠工	式	—	—	
	橋梁費		式	—	—	
		100m以上	m	—	—	
		100m未満	m	—	—	
	トンネル費		式	—	—	
		NATM	m	—	—	
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	1	877	
		IC	箇所	1	877	トランペット型(1箇所)
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	—	—	
		車道舗装	m ²	—	—	
		歩道舗装	m ²	—	—	
	附帯施設費		式	—	—	
		交通管理施設工	式	—	—	
		遮音壁	m	—	—	
②	用地及び補償費		式	—	—	
	用地費		式	—	—	
		宅地	m ²	—	—	
		田畑	m ²	—	—	
		山林・原野	m ²	—	—	
	補償費		式	—	—	
③	間接経費		式	1	190	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				1,067	

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道373号	志戸坂峠道路	2	18.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	18.4	5,085	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	10,245	橋梁20橋、トンネル11箇所
維持管理費合計			15,330	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道373号	志戸坂峠道路	2	0.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	0.5	150	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	550	路面補修等
維持管理費合計			700	

一般国道373号 志戸坂峠道路

〔鳥取県への意見照会と回答〕

国中整企画第1006号
国中整港計第1004号
平成23年3月3日

鳥取県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年3月8日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年3月7日（月）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

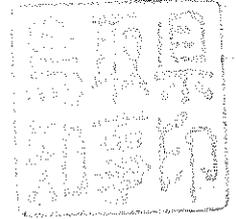
事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道373号 志戸坂峠道路	継続	
一般国道183号 鍵掛峠道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

第 201000187576 号
平成 23 年 3 月 4 日

国土交通省中国地方整備局長 様

鳥取県知事



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について(回答)

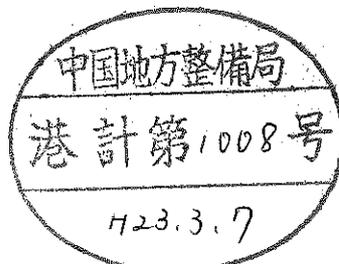
平成 23 年 3 月 3 日付国中整企画第1006号及び国中整港計第1004号で照会のあった一般
国道 373 号志戸坂峠道路及び一般国道 183 号鍵掛峠道路の事業再評価に係る対応方針
（原案）案については異存ありません。

なお、事業推進にあたり下記のとおり要望します。

（担当 技術企画課 企画・技術調査担当 日笠、電話 0857-26-7410、ファクシ 0857-26-8189）

記

事業名	要望事項
一般国道 373 号志戸坂峠道路	○一般国道 373 号志戸坂峠道路は、鳥取自動車道の一部を形成し、当県の自立的発展や地域間の広域連携に必要不可欠な社会インフラです。鳥取自動車道の当県側はすで開通しており、鳥取自動車道が高速道路ネットワークとしてその機能を発揮するためには、本事業の一刻も早い完成が必要です。公表されている平成 24 年度の確実な供用に向け、なお一層の御尽力をお願いします。
一般国道 183 号鍵掛峠道路	○一般国道 183 号鍵掛峠道路は、地域高規格道路「江府三次道路」を形成し、当県の自立的発展や地域間の広域連携、沿線地域の命の道として必要不可欠な社会インフラです。現在、国道 183 号は、広島県との県境部において急坂、急カーブが連続し、とくに冬期において交通のあい路となっていることから、本事業の一刻も早い完成に向け、なお一層の御尽力をお願いします。



一般国道373号 志戸坂峠道路

〔岡山県への意見照会と回答〕

国中整企画第1006号
国中整港計第1004号
平成23年3月3日

岡山県知事 殿

中国地方整備局長

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年3月8日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年3月7日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道373号 志戸坂峠道路	継続	

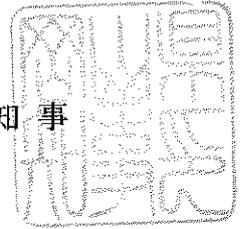
※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

大

技 第 281 号
平成23年3月4日

中国地方整備局長 様

岡山県知事

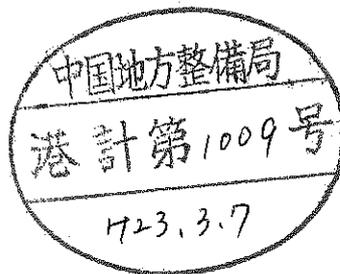


中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成
に係る意見照会について（回答）

平成23年3月3日付け国中整企画第1006号及び国中整港計第1004号で照会のあった下記事業について、継続するとの対応方針（原案）案については異存ありません。なお、個別の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

・一般国道373号 志戸坂峠道路



(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【道路事業】

事業名	一般国道373号 志戸坂峠道路
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	妥当である
<p>(意見)</p> <p>志戸坂峠道路は、高速道路のミッシングリンクを解消し、広域経済圏の形成や地域の自立的発展を図るため、本県にとって極めて重要な道路であることから、事業継続は妥当である。また、公表された供用予定時期である平成24年度に遅れることなく、整備促進をお願いしたい。</p>	